第８回教育委員会（定例）議事録

1　開　会

令和７年９月 22 日（月）　14 時 00 分

2　場　所

市役所第２庁舎３階　2-301・302 会議室

3　会議に出席した委員

教育長	丹後　政俊
委　員	西田　正志
委　員	鈴木　友美
委　員	吉良　佳晃
委　員	倉　真智子

4　会議に出席した職員

学校教育部長	酒井　寛興
こども未来部長	田中　正典
社会教育部長	中野　悟
学校教育次長	小嶋　拓也
教育総務課長	山内　俊秀
学校教育課長	石井　健一
教育研究所副所長	橋本　拓馬
東部学校給食センター所長	糸川　尚子
西部学校給食センター所長	畑岡　俊成
子育て企画課長	山鳥　有史
保育教育課長	山田　康弘
社会教育・文化財課長	辻川　貴志
中央図書館長	田中　真紀子
田園交響ホール館長	酒井　直隆
中央公民館長	竹見　朋子
教育総務課副課長	近成　和泉

5　議事日程及び議案

別紙の通り

6　開会宣言

14 時 00 分

7　会　期

（自）令和７年９月 22 日　（至）令和７年９月 22 日　１日間

8　会議録署名委員名簿

倉真智子委員

9　閉　会

15 時 57 分

丹後教育長	日程第1、令和7年度第6回会議録の報告、承認について意見等はないか。
全委員	異議なし。
丹後教育長	全員異議なしで、会議録をこのとおり承認する。
丹後教育長	日程第2、会議録署名委員は、4番倉真智子委員を指名する。
丹後教育長	日程第3、会期は令和7年9月22日、本日1日間とする。
丹後教育長	日程第4、議案に移る。議案第12号「「令和６年度実績 教育委員会の点検・評価」について」、教育総務課に説明を求める。
山内課長	《議案書に基づき説明》
西田委員	「部活動の新たな形に向けて」の項目に関し、外部評価の意見にもあるが、部活動推進員や部活動指導員の配置による教職員の負担軽減を示すことはできないのか。
山内課長	部活動に係る部分のみの効果を取り出すことは難しいが、今後においては、「教職員の勤務時間適正化及び業務の効率化の推進」の項目において記載している指標を再掲するかたちを検討している。
西田委員	「小中連携心のサポート事業の実施」の項目に関し、記載のとおり、学校が誰にも居場所がある魅力的なものにするために、「発達支持的生徒指導」の視点を大切に取り組まれたい。 「GIGAスクール構想における学びの充実」の項目に関し、外部評価での質疑において、「～各校にそれを下ろし～」との記載があるが、県と市には上下関係はないので、表現も注意されたい。
山内課長	ご指摘のとおりであり、注意していく。
西田委員	「コミュニティ・スクールの推進」の項目に関し、人材バンクに係る質疑があるが、社会教育が所管する「まなびすとバンク」があるのではないか。
辻川課長	毎年4月に「まなびすとバンク」の登録人材を学校に提供している。
西田委員	「いじめの防止等への的確な対応」の項目に関し、外部評価の意見では、「発生に対する対応率や解消率を指標にしてもよいのではないか」と記載があるが、いじめの発生に対する解消率は、一概に数字だけで解消したと言えるものではない。現時点では、現状のままで良いと思う。
山内課長	外部評価者においても指標の変更が難しいことは認識されているが、一般的に誤解を招くのではないかとの意図からの指摘であり、丁寧な加筆を加えること等で対応していければと考えている。
西田委員	「教職員の勤務時間適正化及び業務の効率化の推進」の項目に関し、スクールサポートスタッフについて、県費と市費の両方であると回答しているが、国費もあるのではないのか。
小嶋次長	県費負担職員だけではないとの回答であり、誤解を招いているが国費負担

	もある。
西田委員	「丹波篠山市展の開催」の項目に関し、「賞金を上げたら出展数が増えるのではないか」とあるが、そういうものではないと思う。 市総合計画の成果指標において、「前年度実績以上」との指標について、総合計画審議会の中でこれは指標ではないとの意見もあった。指標については、丹波篠山の教育からの転記も多く、教育委員会では認めてきた経緯があることを伝えた。
山内課長	外部評価での協議において、コロナ禍で目標達成が難しい時期があった中、現状よりも良くしていく姿勢を示すものとして設定した経緯がある。また、評価時点で前年度実績がでていない中、目標数値を設定することが難しいこともあるが、引き続き、検討していく。
吉良委員	「コミュニティ・スクールの推進」の項目に関し、PTA や学校運営協議会の人材確保の課題に係る協議があるが、一部の人だけでなく全体で取り組めるような体制づくりが必要であると思う。
山内課長	現在、教育研究所と社会教育・文化財課で人材確保の課題等に対する対応策を検討しているところである。
丹後教育長	議案第 12 号「「令和６年度実績 教育委員会の点検・評価」について」採決をする。異議はないか。
全委員	異議なし。
丹後教育長	全員賛成で、議案第 12 号「「令和６年度実績 教育委員会の点検・評価」について」は原案どおり可決する。
丹後教育長	日程第 5、協議事項に移る。協議第 6 号「通学区に関する要望について」、教育総務課に説明を求める。
山内課長	《議案書に基づき説明》
鈴木委員	要望理由は何か。
山内課長	小学校区は古市地区であるが、行政区、地域の付き合いは城南地区であるためと言われていた。
西田委員	要望は、文書で出されたのか。
山内課長	現時点では口頭のみである。
西田委員	門前払いにはできない案件ではあるが、口頭での要望を教育委員会で協議することが適切であるのか。
山内課長	少子化や子育てにも関わる案件でもあることから、報告した方が良いと判断した。本日の協議も踏まえ、1 人の意見だけではなく、地域の合意が必要であることを要望者に伝えることを考えている。
西田委員	現在のルールは、過去の経緯があってのことであると思うので、事務局はそうした経緯もできる範囲で把握しておかれたい。

丹後教育長	協議第５号「古市小学校、古市幼稚園の今後の体制について」はここまでとする。本日の意見も踏まえ、要望者、地元自治会長等へ説明することとする。今後の動き等は、必要に応じ、随時報告させていただく。
丹後教育長	日程第6、報告事項に移る。報告１「寄附採納について」、教育総務課に報告を求める。
近成副課長	《議案書に基づき報告》
丹後教育長	報告２「後援名義の承認について」、教育総務課に報告を求める。
近成副課長	《議案書に基づき報告》
丹後教育長	報告３「小中学校児童生徒の問題行動等について」、学校教育課に報告を求める。
石井課長	《議案書に基づき報告》
西田委員	金品の持ち出し案件について、いじめ問題につながるかもしれないので、背景等の確認をしっかりと行われたい。
石井課長	問題の背景等も確認し、対応していく。
丹後教育長	報告４「令和７年度全国学力・学習状況調査（４月１７日）の結果について」、教育研究所に報告を求める。
小嶋次長	《議案書に基づき報告》
西田委員	「丹波篠山の教育」における成果指標において、「全国学力・学習状況調査は全教科全国平均以上、丹波篠山市学力・生活習慣状況調査は全教科目標値以上になること」としている中、今年度の結果では上回っている項目が３つのみとなっている。全国値と比較で５ポイントの範囲を標準としている中、全体的に下回るものがほとんどであり、深刻に受け止めている。また、生活状況調査において、１日１時間以上、家庭学習をする児童生徒の割合については経年で見ても低かったが、全国と比べ中学校では20ポイントも下がっている。各校で分析、対応されているとのことであるが、今後、市教育委員会として、市全体でどのような対応をしていくかについて、研究してほしい。
小嶋次長	現在、各校において児童生徒それぞれの実態や学習の理解状況を踏まえた上で、対応が進んでいる。定期的な復習や集団として学びに向かう雰囲気が

	醸成されているか等、学力向上プロジェクトチームでの分析等を踏まえ、児童生徒の「確かな学力」定着に向け、学校へ指示していく。
西田委員	教育委員として、学力について共通認識・協議する場を求める。
丹後教育長	報告、協議、研修等の形も含め、検討する。
吉良委員	「ゆめ力」における「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」の項目が高いことは本市の特徴であると思う。ふるさと教育を含め、地域と学校の連携も引き続き、大事にして取り組まれたい。
丹後教育長	報告5「令和7年度9月小・中・特別支援学校定例校長会について」、学校教育課に報告を求める。
石井課長	《議案書に基づき報告》
西田委員	人権作文コンクールの審査をした際に、明らかに生成AIで作成したと思われる作品があった。今後、生成AIを活用していく中で、学校現場でそのようなケースが出てくることも懸念されることから、情報モラルの研修等、指導の徹底をお願いする。
橋本副所長	各校で少しずつ生成AIの利活用が始まっている。生成AIの利活用については、ガイドラインの中で「人間中心の原則」と明記しているように、最後は人間が判断することが重要であり、そのような基本的な考え方をもって、利活用していくことが大切である。情報モラルや著作権等については、ガイドラインの留意事項及び厳守事項の中で明記しており、今後も、ICT活用研修や情報モラル等に関する研修を積み重ねながら、よりよい利活用を進めていく。
倉委員	子どもの生活習慣状況調査結果で、3歳児、5歳児の属性が分からない。保育園、幼稚園に通っている場合とそうでない場合では、結果が異なることも想定されることから、属性別の分析も重要ではないか。
小嶋次長	市内保育園、こども園の3歳児保護者、市内幼稚園、こども園の５歳児保護者、市内小学校・特別支援学校の１年生保護者を対象としているが、属性分析については、今後、検討していく。
鈴木委員	小学校でCanvaを活用している事例を聞いた。生成AIの活用は良いと思うが、回答を見極める力を含め、どのように使っていくのかを学ぶ機会も必要であると思う。
橋本副所長	Google系の生成AI「Gemini／NotebookLM」については、年齢制限がなくなったことから、教職員だけでなく児童生徒も利活用できる環境にある。Copilot/ChatGPTについては、13歳以上は保護者の同意が必要であることから、現在のところは、教職員による利活用を想定している。Canvaについては、今年9月に市で一括申請し、教職員だけでなく児童生徒も利活用できる環境にある。Canvaの利活用については、各校によって活用状況が違うが、今後、利活用が進んでいくと思われる。研究所でも11月に生成AIやCanva

	等をテーマにしたICT活用基礎研修を計画し、さらなる利活用の推進を図っていきたいと考えている。
丹後教育長	報告6「大山児童クラブの運営について」、子育て企画課に報告を求める。
山鳥課長	《議案書に基づき報告》
西田委員	年度途中かつ急な契約解除となるが、契約上の問題はないのか。
山鳥課長	契約書には、契約解除の申出期限は定めていない。相手方からの申出を受け、市が相手方において契約を遂行することが困難であると認めた場合、契約を解除することとしている。
西田委員	委託料の支払いはどうなるのか。
山鳥課長	4半期に分けて支払いをしており、現在、9月末日までの分を支払っており、10月以降の委託料は支払っていない。
鈴木委員	職員の配置はどうなるのか。
山鳥課長	スムーズかつ安全安心な施設運営を継続できるよう、現在、大山児童クラブで勤務する職員を市の会計年度任用職員として配置できるよう調整しているところである。
吉良委員	人的なこと以外で懸念事項はあるのか。
山鳥課長	基本は市の備品であるが、㈱Dreamawayが準備している物品もある。不足する物品等を確認し、スムーズに移行できるよう努める。
西田委員	利用者が不安にならないように説明会での説明を含め、丁寧な対応をお願いしておく。
山鳥課長	安心して利用できるように対応していきたい。
丹後教育長	報告8「第126回丹波篠山市議会長月会議一般質問について」、教育総務課に報告を求める。
山内課長	《議案書に基づき報告》
丹後教育長	報告7「教育長報告」について報告する。 前回の定例教育委員会以降のスケジュールについては13～15頁に記載している。この間、市議会での一般質問や学校園訪問を行ってきた。 9月の校長会では、一般質問でも回答したが、自分の考える「リーダーシップについて」話をした。「謙虚なリーダーシップ～一人のリーダーに依存しない組織をつくる」という本からの引用であるが、これまで言われてきた英雄がチームを率いるのは過去のモデルであり、この複雑な状況で生き残るには謙虚であることが不可欠であるとされている。今の時代は、チームとして互いの反応を共有し、読み、深く考え、不確実な未来にしなやかに対応していくことが必要であることから、謙虚なリーダーシップが求められている

	とされている。謙虚なリーダーシップは、上下関係より協力関係の構築が重視され、組織のあらゆる場所にいるリーダーとフォロワーを硬く結びつけるとともに、カリスマ性のある因習打破主義者の「私だけが」という思い込みのリーダーシップより、「私たちが共に」という協働のリーダーシップをめざす姿と示しており、私自身もそうした組織運営を進めていきたいと考えている旨を校長に話した。 以上で、本日の審議は全て終了する。 これをもって、第８回定例教育委員会を終了する。